



## 太極拳の普及と日本連盟創立

太極拳(たいきょくけん)は中国の伝統武術の中の一  
流派であるが、1950年代半ばから、当時の中国政府に  
よって、国民の健康増進に資するスポーツとして普及  
が図られた。日本では1960年代に日中国交正常化が進展  
する中で徐々に太極拳の普及が始まった。

1970年代には、日本の各地と中国各地の間で民間交  
流が盛んになり、日本の太極拳愛好者が中国各地を訪  
れ、また、日本各地に中国から太極拳指導者を招いて  
技術を習得する活動が盛んに行われるようになった。  
太極拳は幅広い年齢層の愛好者が手軽に楽しめて健康  
効果の高いスポーツとして普及が進み、全国各地に普  
及団体が誕生した。また、当時の中国ブームのなか  
で、テレビコマーシャルで太極拳が紹介されることな  
どと相まって、太極拳ブームが到来し、愛好者が急増  
した。太極拳は、昨今の健康スポーツに先駆けて全国  
的に定着していった。

さらに、1970年代には、香港映画などで中国武術が  
「カンフー」の名称で紹介され、中国武術ブームが起こ  
り、日本の青少年のなかに中国武術(長拳、南拳、伝  
統拳術等)が普及し始めた。

このような経過の中で、太極拳と中国武術を総称す  
るために、日本では「武術太極拳(ぶじゅつたいきょく  
けん)」の名称を用いて、生涯スポーツと競技スポーツ  
の両分野で普及振興を図ることになった。

愛好者が増加するにつれて、全国の愛好者同士が交  
流する「交流大会」や「競技会」を行う機運が生まれ、そ

のための全国組織をつくる条件が醸成された。

1987(昭和62)年4月26日に東京都内で、全国各地の  
太極拳普及団体48団体が参加して日本武術太極拳連盟  
の設立総会が開催され、初代会長に藤波孝生が選出さ  
れた。

同年9月25日に横浜市において、12カ国・地域の武  
術組織が出席して、アジア武術連盟(WFA)の設立総  
会が開催された。翌26日~27日に、設立直後のアジア  
武術連盟が主催し、日本連盟が主管して「第1回アジ  
ア武術選手権大会」が横浜文化体育館で挙行された。  
参加は11カ国・地域であった。

日本連盟は、1988(昭和63)年12月に文部省競技スポ  
ーツ課を主務官庁とする社団法人に認可された。続い  
て、1990(平成2)年10月に(財)日本オリンピック委員会  
に加盟し、翌1991(平成3)年3月に(財)日本体育協会に  
加盟を果たした。

## 国際競技スポーツとして発展

中国国内では1960年代から「武術競技規則」が定めら  
れ、競技スポーツとしての武術競技大会が実施されて  
いた。

1984(昭和59)年に大阪で「第1回全日本太極拳・中  
国武術表演大会」が挙行され、以後、毎年開催されこ  
となる「全日本大会」、「全日本選手権大会」の出発点  
となった。

1985(昭和60)年8月に中国・西安市で「第1回国際  
武術招待競技大会」が開催され、日本からは日本武術



